

令和元年度 第4学年 授業改善推進プラン

教科	1学期に実施した課題と工夫	課題を受けた今後の改善策
国語	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆話し合い ・話し合い活動の充実を図るために、「話し合い」の時間に具体的な支援をする。 <p>【工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆授業の組み立て ・机間指導に特に力を入れ、その後の授業の組み立て、評価、個別支援を心掛けた。 	<p>A 指導目標の明確化と学習の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習のめあてを明確に示し、スモールステップで確認しながら学習を進める。 <p>E 相互の学び合い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書いた文章を読み合ったり、感想を発表したりする活動を通して学び合いながら理解できるように学習活動を工夫する。
社会	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆地域社会の活動を理解し、地域社会に貢献しようとする資質を高めていこうとする態度を身に付ける。 ・良好な生活環境や安全を守るための活動を深く追究しようとする態度を身に付ける。 <p>【工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆教材の開発と工夫 ・身近な地域の題材を生かし、実感を伴った学習課題として指導した。 ・学習形態や課題を吟味し、習熟に差があっても同様に学習できるようにした。 	<p>E 相互の学び合い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合い活動を意味あるものにするための指導方法の工夫。(学習課題からぶれずにすすめていく) <p>B 教材の開発と工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料(データ)を自分達で作り、課題を解決していく。 ・資料の読み取り方や活用の仕方も合わせて指導することで、プレゼンテーション時の表現力を高めていく。
算数	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆既習事項を活用して学習に生かしていく。 ・乗法や除法、加法及び減法の計算の仕方や図形の意味や関係等を正しく理解する。 <p>【工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆指導目標の明確化と学習の見通し ・前時に学習した内容とどこが違うのかを毎時間注目させるなど既習事項との対比を意識して学習を進めた。 	<p>A 指導目標の明確化と学習の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の見通しを明確にする。随時、既習事項を想起させながら学習を進めて定着を図っていく。 <p>D 補助資料の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別支援が十分にできるように机間指導を強化する他、ヒントカードの用意など個に合った支援の充実を図っていく。
理科	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆自然の事物・現象の変化に着目し、規則性や関係について科学的な見方や考え方を養えるようにする。 ・事象の変化を正しく把握でき、要因を追究しようとする。 <p>【工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆補助資料の活用 ・事物・現象の変化を正しく捉えられるようにワークシートを工夫した。 	<p>A 指導目標の明確化と学習の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入において追究したくなるような実感を伴ったものにしていく。 <p>D 補助資料の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板などの ICT などを有効に活用し、事象の変化をより視覚化し、共有できるようにしていく。
体育	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆友達と協力しながら、意欲的に運動に取り組むようにする。 ・自分の技量の向上だけでなく、ペアやグループ内で友達と高め合える活動ができるようにする。 <p>【工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆相互の学び合い ・グループを等質グループ・異質グループなど目的に合わせて使い分けながら協力して学び合いができるように工夫した。 	<p>E 相互の学び合い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の動きをみてアドバイスし合えるような活動や場の設定、グルーピングなどを工夫する。 <p>F 評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の動きを客観的にとらえられるようにする。 ・アドバイスの視点や動きのポイントを示すことで相互評価できるようにする。
道徳	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ★物事を多面的、多角的に考えたり、自己の生き方について考えを深めたりできるようにする。 <p>【工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆道徳的諸価値を実現しようとする自分とそうでない自分との葛藤から生じる問題を授業で取り上げ、話し合い活動の充実を図る。 ・児童の考えをしっかりとらせるために、ペアやグループになってお互いの意見や考えを言い合う活動をする。 	<p>E 相互の学び合い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペア学習やグループ学習を多く取り入れ、互いの意見を聞き合い、伝え合う活動をととして、相互理解を図る。 <p>C 言葉の吟味</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の自己肯定感を育てるため、友達の良いところを児童同士で見つけていき、伝え合う。教師も児童のよいところを称賛する。

<p>外国語</p>	<p>【課題】 ★英語の音声や基本的な表現に慣れ親しみ、友達や教師とコミュニケーションを図ることができるようにしたい。</p> <p>【工夫】 ☆相互の学び合いと手立て ・ゲーム活動をとおして、児童同士で楽しくやり取りができる活動を多く設定し、コミュニケーション力や学習意欲を高める。</p>	<p>B教材開発と工夫 児童が楽しく英語学習に慣れ親しめるように、児童の実態に合ったゲームの教材開発をする。</p> <p>E相互の学び合いと手立て コミュニケーションを図るためにペアやグループで行うゲーム活動を多く取り入れる。</p>
<p>今年度の成果と課題</p> <p>【成果】 ・学習の見通しを明確にしたことで、既習事項を想起させながら学習を進められた。また、次に何を学習するか事前に確認するようになった。 ・友達の動きをみてアドバイスし、跳び箱やマット運動で技ができるようになった。次の技に取り組む児童が増えた。</p> <p>【課題】 ・個に応じた個別の指導、支援を行うことが十分ではなかった。児童の実態に応じた教材の工夫が必要である。</p>		